



校報 あずまね

<https://shiwa3.chu.jp>

時間啄啐

文責 佐藤智一

祝 卒業！ 3 年生 27 名へのメッセージ



三年前の冬、コロナウイルスという新たな脅威が世界中を襲い学校生活が一変した年に、皆さんは中学校に入学してきました。春には緊急事態宣言が発令され、運動会と修学旅行は延期、県中総体も中止になりました。その当時、IPS 細胞の研究でノーベル賞を受賞した山中伸弥さんは、次のような言葉を残しています。

「桜は来年も必ず帰ってきますが、人の命が奪われたら二度と帰って来ないのです。」

この言葉のとおり、一人ひとりの命を守るため、みんなでいろんなことに気をつけて過ごしてきた三年間であったと思います。それでも皆さんはめげずに顔を上げ、笑みを交わし、互いをいたわり励ます声を掛け合いながら、共に学び活動してきました。

春の生徒総会で「飛翔」というスローガンを掲げ、満開の桜の下で歌を歌い、初めて訪れる函館の街で和気藹々と修学旅行を楽しみ、運動会では勝っても負けても互いの健闘を讃え合っていました。三中祭は二年間合唱だけでしたが、今年は情熱的な学級合唱「This is me」の熱唱に加えて、「三中ステーション」という寸劇で楽しかった中学校生活の思い出を思う存分表現していました。思い切って自分をさらけ出し、それを受け止めてくれる学級の仲間たちの和や感謝の気持ちが伝わってきた舞台でした。

皆さんは勉学にも力を注ぎ、春のあずまネカフェや秋の六〇周年記念事業では、今を真剣に生きる先輩の生き方に触れ、これからの進路にも真剣に向き合うことが出来た一年でした。

みんなで大切に積み重ねてきた中学校生活の終わりを迎え、その胸に溢れんばかりの思い出を明日へと向かう力に変えられるよう、卒業生の皆さんに物理学者 アルベルト・アインシュタインの言葉を紹介します。

「私には特別な才能はない。ただ、情熱的に好奇心が旺盛なだけだ。昨日から学び、今日のために生き、明日に希望を持って。大切なのは、疑問を持つことをやめないことだ。」

明日への希望と夢に向かう情熱、あらゆる物事への好奇心。それを伝え合い、響き合い、高め合うことができる仲間。それさえあれば、自分の人生とその未来を切り拓いていくことができるのではないのでしょうか。そしてそれは、やがて自分だけではなく他者や社会の幸せへとつながっていきます。その時々で出会う「ありがとう」の言葉は、皆さんの歩みを支えていくものになるでしょう。なぜなら、人は感謝の言葉を聞かされた時、自分も誰かの力になれることに気づくからです。そういう経験が人を育て、これからの社会を支えていくことになるのだと思います。

皆さんの人生はこれからも続きます。その目的は、次第に自分のためばかりでなく、家族のため、地域や社会のため、人類や地球のためと広がっていくでしょう。そんな皆さんがいつまでも元気にその命を輝かせ、私たちの未来の希望の光となってくれることを切に祈り、餞の言葉とします。

祝 進級！ 進級する 71 名へのメッセージ



昨日、3年生が万感の思いを胸に学校を巣立ちました。在校生の皆さんにも、立派な卒業式を支える力になってもらったことに、感謝します。

1, 2年生は、この一年の自分の成長をどのように捉えているでしょう。自分本位で甘ったれの子供時代から一歩抜け出すことが出来たでしょうか。失敗もあったでしょう。でも、そこから少しずつ学ぶから、賢くなっていきます。他の人のことを思いやる優しさも身につけていきます。中学校ではそうやって、これから生きていく上で大切なことを学んでいきます。皆さん一人ひとりにそうした機会があったはずです。そして、本日をもって皆さんは、それぞれの学年で学ぶべきこと、経験すべきことはすべて終わりました。この1年間を振り返り、自分がやれることをやり切ったと思えたなら、それは頑張った何よりの証です。

でも人間には、わかっていながら楽な方を選んでしまうような面が誰にでもあります。思うようにできなかった経験は、誰にでもあるでしょう。次の1年を悔いなく送るには、やろうと思ったことをとにかく始めることです。始めなければ何も変わりません。しかし、動き出せば勢いがつきます。この春休みを是非とも、新たなスタートに向けた足掛かりにしてください。

先日、名古屋ウィメンズマラソンに出場して第2位（日本人1位）でゴールした鈴木亜由子選手が、レース前にこんなことを語っていました。「ずっと走りたかったレース。状態は上がっている。自己ベストの更新を目指して最大限の力を出したい。」レース後には、「最後まで気持ちを切らさずに走ることができた。」と語っていました。

人間は習慣の生き物です。一度全ての力を出し切ると、それが癖になります。そしてそれは、自信になっていきます。皆さんにも、全力を出し切る経験をして欲しい。それを習慣にして欲しいです。そして全てが終わった後、みんなで達成感や感謝の気持ちを共に味わう。そんな一年を過ごすためのスタートに向けて走り出す春休みにすることを願っています。

令和4年度の学校評価を公表しました

2月に行われた第4回学校運営協議会において、2学期末に実施したまなびフェストアンケートの結果をもとに、学校評価と令和5年度の経営方針及び重点を報告し、質疑の上ご承りいただき、学校評価がまとまりました。保護者や地域の皆さんからたくさんの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

生徒・職員・保護者の自己評価アンケート結果や国・県の学力・学習状況調査の主な結果、生徒の生活状況、保護者や学校運営協議委員の皆さんからのご意見、次年度に向けた学校経営方針等をPDFファイルにまとめて、学校ウェブサイトへアップしておりますので、ご覧ください。

来年度も生徒・保護者・地域の声をよく聴き、学校生活の土台となる「安心と信頼」を大切にされた教育活動を展開していこうと考えております。生徒・保護者・地域の方々を学校経営のパートナーとして、みんなでつくる学校の実現に向けて取り組んで参りますので、引き続きご協力をお願いいたします。

